



白門板橋

編集発行 中央大学学生会
東京板橋区支部
〒174 板橋区常盤台1-46-4
TEL 3969-8661

1995. 8.15 第7号



平成7年6月16日 第7回定時総会 (於板橋区立文化会館)

新しい血で活力を

支部長 濱 巖

「会員増強」は支部創立以来、毎年の事業活動の一つとして掲げてきました。大きな成果は得られませんでした。

昨年の第六回定時総会で、田永支部長の後を受けて、二代目の支部長に就任した際、事業活動の最重点として「会員増強」を挙げました。この目標を達成する方策について、幹事、常任幹事の方々のご意見を広く集め、その後、正副支部長会であらゆる角度から検討しました。その結果、最も効果的な方法として、往復葉書によるアンケート形式での勧誘をすることにしました。

区内在住の学員名簿から昭和六十年以降卒業の学員を除いた約一、七〇〇名に対し、常任理事の方々の作業協力で、往復葉書を郵送しました。

この結果、一〇二名の入会希望者の反響があり、そのうち早速に七三名の方から年会費が振り込まれました。この成果は画期的なものとして役員一同が評価し、喜び合いました。さらに、第七回の定時総会には二五名の新入会員が出席し、かつてない九九名参加の総会になりました。

この新入会員の新しい血を支部活動の中で活かしていただき、より強固な支部にして行きたいと思えます。会員相互の親睦を深めるために、現在活動中の囲碁、ゴルフの同好会のほかに、旅行、ジョギング、山歩き、史蹟巡り、カメラ、ボランティア活動等々広い分野にわたって同好会サークルを作り、折角の新しい血を活力にして、事業活動を盛んにして行きたいと思っています。

サークル活動については、この会報に詳述しておりますので、ご希望のサークルにご参加のほどをお願いします。

第七回 定時総会を開催

新入会員一挙に一〇二名

総会は新入会員歓迎会

六月十二日(金)午後六時より板橋区立文化会館四階大会議室において、第七回の定時総会を開催した。

今回の総会で特筆すべきは会員の増加であった。(支部長 巻頭言参照)

総会は「新入会員歓迎会」として設営することにした。そのために何か新しいことを企画することにした。

いろいろ検討した結果、福引会をすることにし、幹事に景品提供を呼びかけた。その結果、当日の会場には五八名の景品が持ち寄られた。会の予算からは高木総長の筆になる「初志貫徹」の校章入り手拭を八〇

本生協より買入れ、空クジなしの福引会とした。福引会は大いに盛り上がり、残った手拭をその場の雰囲気から希望者へ頒布することになった。「多摩キャンパスまで行かないと手

に入らないよ」の掛け声で瞬くまに一本五〇〇円(原価二五〇円)に値付けた手拭が売り切れ、会の財政に寄与した。

福引会に先立ち、懇親会はご来賓の学校法人中央大学の常任理事、澤島政夫先生より「祝辞をいただきたい。たまたま当日は学員会の正副会長会議と重なったため、学員会の分までとのことでのご祝辞であった。学校側の近況として大学院の改革、都心の校舎の利用等について詳しく述べられた。また、教育研究振興基金についても触れられ、協力を要請された。

乾杯は大正14年卒業の蘭田大先輩の音頭で始まり、終始和やかに進んだ。

特に新入会員のうち、この日は二五名が出席し、一人づつ紹介して、

満場の拍手で応えた。

総会は濱支部長の同好会を活発にする方針発表に続き、牧副支部長が議長となり、提出議案が審議され、満場一致で可決された。

会員の増加により、事業活動をさらに活発化することを確認し、議事を終了した。

なお、懇親会には、会員である石塚輝雄板橋区長が出席され、先の選挙の会員有志による協力に感謝し、会の発展を祈る旨のご挨拶をされた。



第一号議案

平成6年度事業報告

及び収支決算報告

(自6・4・15至7・3・31)

(一) 事業報告

6・4・9 学員会主催の観桜会に参加(多摩キャンパス) (5名)

6・4・16 第24回囲碁会(成増区民センター・和室) (10名)

6・5・2 正副支部長会(秋元会計事務所) (4名)

6・5・7 正副支部長会・会計監査会(常盤台集会所) (10名)

6・5・23 正副支部長会(秋元会計事務所) (6名)

6・5・27 常任幹事会(南常盤台集会所) (40名)

6・6・22 正副支部長会(ときわ亭) (6名)

6・6・24 定時総会及び懇親会(板橋区立文化会館) (56名)

6・6・25 第25回囲碁会(成増区民センター・和室) (4名)

6・7・15 正副支部長会(常盤台集会所) (6名)

6・8・5 正副支部長会(常盤台・シロー) (3名)

6・8・18 正副支部長会(秋元会計事務所) (6名)

6・8・20 第26回囲碁会(成増区

- 民センター・和室 (7名)
- 6・8・26 常任幹事会 (南常盤台集会所) (25名)
- 6・9・2 正副支部長会 (常盤台集会所) (4名)
- 6・10・6 正副支部長会 (常盤台・シロ) (3名)
- 6・10・15 第27回囲碁会 (成増区民センター・プロ棋士尾越7段の指導碁会・謝礼10万円は學員会本部が負担) (16名)
- 6・10・24 正副支部長会 (常盤台集会所) (6名)
- 6・11・12・13 秋の旅行会・貸切バスで伊香保・榛名山へ (17名)
- 6・11・21 常任幹事会 (南常盤台集会所) (23名)
- 6・12・7 正副支部長会 (常盤台集会所) (6名)
- 6・12・17 第28回囲碁会 (成増区民センター・和室) (10名)
- 7・1・25 新年会 (板橋区立文化会館) (63名)
- 7・2・9 会員増強勧誘状発送作業 (南常盤台集会所) (20名)
- 7・2・21 正副支部長会 (常盤台集会所) (5名)
- 7・2・25 第29回囲碁会 (成増区民センター・和室) (11名)
- 7・3・27 正副支部長会 (常盤台集会所) (4名)

(2) 収支決算報告書

【収入の部】

(単位円)

科目	予算額	決算額	増減差	備考
年会費	480,000	384,000	△96,000	3,000円×128名
総会会費	390,000	336,000	△54,000	6,000円×56名
旅行会会費	450,000	465,000	15,000	20,000円追加他17名
新年会会費	390,000	378,000	△12,000	6,000円×63名
幹事会会費	70,000	80,000	10,000	2,000円×40名
常任幹事会会費	0	96,000	96,000	①2,000円・25名 ②2,000円・23名
寄付金	100,000	80,000	△20,000	総会・新年会
受取利息	35,000	2,738	△32,267	
本部交付金	0	23,000	23,000	大学募金の返戻
雑収入	5,000	0	△5,000	
前年度繰越金	1,375,005	1,375,005		
計	3,295,005	3,219,738	△75,267	

【支出の部】

(単位円)

科目	予算額	決算額	増減額	備考
総会費	390,000	343,434	△46,566	文化会館 6.6.24
旅行会費	450,000	519,714	69,714	伊香保他6.11.12~13
新年会費	390,000	337,289	△52,711	文化会館 7.1.25
幹事会費	87,500	111,780	24,280	南常盤台 6.5.27
常任幹事会費	0	97,870	97,870	南常盤台 6.8.26 6.11.21
広報作成費	120,000	117,420	△2,580	
名簿作成費	100,000	0	△100,000	
印刷費	60,000	167,117	107,117	
通信費	100,000	261,770	161,770	
会議費	120,000	81,956	△38,044	
会議会場費	80,000	52,230	△27,770	
事務所費	60,000	60,000	0	
事務用品費	20,000	15,342	△4,658	
慶弔交際費	50,000	64,103	14,103	香典、阪神見舞
同好会補助	30,000	22,800	△7,200	囲碁部
手数料	0	3,240	3,240	
雑費	5,000	0	△5,000	
次年度繰越金	1,232,505	963,673	△268,832	
計	3,295,005	3,219,738	△75,267	

貸借対照表

中央大学学会会東京板橋区支部 (平成7年3月31日現在)

(単位円)

資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部		
科 目	内 訳	金 額	科 目	内 訳	金 額
現 金	手許在高	77,941	繰越剰余金		1,375,005
普通預金	住友・常盤台	4,413	当期欠損金		411,332
普通預金	第一勧銀成増 (1718679)	654,763			
郵便振替口座					
	(8-568929)	0			
郵便貯金	" (36646881)	28			
郵便定額貯金	" (3728043)	72,000			
郵便定額貯金	" (")	23,000			
投資有価証券	岡三証券金貯蓄	131,528			
合 計		963,673	合 計		963,673

以上の通り決算報告いたします。

平成7年5月11日

支部長 浜 巖

会 計 栗原 三郎 久米 英雄

以上支部の決算につき監査の結果、適正に且つ適法に表示していると認めた。

平成7年5月11日

監 事 小日向孝介 ㊟

森 英正 ㊟

第2号議案 平成7年度事業計画

1. 会員の拡充、強化
2. 親睦会の開催
 - (1) 観桜会 (支部・学会会本部) 4月 (実施済み)
 - (2) 旅行会 (箱根方面他検討中) 11月12日(日)~13日(月)
 - (3) 新年会 平成8年1月
3. 同好会活動の促進
 - (1) 囲碁会 (偶数月の第三土曜日) とプロ棋士を招いての指導碁会
 - (2) ゴルフコンペ (第2回・7. 5. 16日実施、第3回10月予定)
 - (3) カラオケ同好会
4. 広報・名簿の作成

【収入の部】

【支出の部】

(単位円)

科 目	金 額	備 考
年会費	600,000	200名×3000
総会費	600,000	100名×6000
旅行会費	750,000	30名×25000
新年会費	600,000	100名×6000
幹事会費	70,000	35名×2000
寄付金	100,000	
受取利息	35,000	
雑収入	5,000	
前年度繰越金	963,673	
計	3,723,673	

科 目	金 額	備 考
総会費	600,000	100×6000
旅行会費	750,000	30×25000
新年会費	600,000	100×6000
幹事会費	87,500	35×2500
広報作成費	120,000	
名簿作成費	100,000	
印刷費	60,000	
通信費	100,000	
会議費	120,000	
会議会場費	80,000	
事務所費	60,000	
事務用品費	20,000	
慶弔交際費	50,000	
同好会補助	30,000	
雑費	5,000	
予備費	941,173	
計	3,723,673	

新入会員の方々

新しく入会された方々は次の通りです。()内は卒業年次

野沢一夫(15)松村武純(17)木村昭一(24) 沢渡 繁(25)齊藤 博(28)田中 亨(28)山一郎(28)依田喜久太郎(28)下野俊宏(29) 武部英夫(29)藤沼弘一(29)森 弘(29)若井富男(29)猪橋進一(30)田村健蔵(30)山田八之(30)笠原 優(31)原田幸雄(31)秋山清光(32)勝沼正芳(32)神野鎮雄(32)津野誠作(32)西元文武(32)小張喜代美(33)西 三郎(33)山田治賛(33) 清田則忠(34)酒井豊彦(34)菅原孝也(34)高木高明(34)高野一義(34) 中島辰雄(34)若林邦弘(34)江袋希一(35)高橋敏美(35)三田喜一(35)吉野昭一(35)岡崎一臣(36)高橋弘光(36)伊藤春雄(37)中倉慶彬(37)長谷川正憲(37)藤井 滋(37)阿部顕一(38)今井 孝(38)梶尾紀久雄(38)加藤憲(38)木下隆雄(38)篠崎 貢(38)永野宏志(39)布施二郎(39)藍谷忠雄(40)白谷大吉(40) 多田光宏(40)今野晴夫(41)久米賢一郎(41)清水 宏(41)千賀修一(41)中枝武躬(41)眞鍋昭夫(41)小島 仁(42)服部 弘(42)藤山公夫(42)坂田純一(43)田口彦丸(43)石田孝(44)大野 哲(44)大野寛治(44)川崎学人(44)吉野安三(44)河野百代(45)須沢俊明(45) 若木康夫(45)相沢 明(46)竹森道夫(46)町田和隆(46)鈴木雅幸(47)小泉義雄(48)鈴木あや子(48)若泉 博(48)木村秀夫(49)小林富士夫(49)池上英夫(50)清水一雄(60)高畑

仁(51)伊庭 博(52)羽根 清(52)栗林文夫(53)黒沢三則(54)名古屋勝彦(54)山眞満(54)金子洋一(55)今井英彦(56)大勝康弘(56)笠原 章(58)菅野元克(60)徳丸千恵(60)原田 恒日(5)吉原 寛日(6)寒梅 賢(41) 田中伸二(58)金井 嵩(19)田中邦明(33)戸屋 新(44)

第二回ゴルフ大会

第一回を僅か四名で開催してからしばらく間をおいたが、去る五月十六日(火)、ノーザンカントリー錦ヶ原コースで、第二回のゴルフ大会を開催した。当初十一名の申込みがあったが、その後の取消しがあり、当日になっての不参加が一名となり、結局七名によるコンペティションとなった。ハンデイヤップは新ペリア方式で決めた。成績は次の通り。(順位) (氏名) OUT IN 計 HC NET
優勝 細田六郎 43 47 90 17 73
2位 鶴岡俊雄 44 48 92 17 75
3位 佐藤幹夫 50 55 105 29 76
4位 藤野 守 42 45 87 10 77
5位 清水治男 53 61 114 32 82
6位 武内崇泰 51 57 108 26 82
7位 森 英正 72 70 142 42 100
なお、当支部のゴルフチームは、平成5年11月30日に行われた、全中央の支部対抗戦に出場し、第七位に入賞した実績もある。